



がっこう
学校だより

鈴鹿市立河曲小学校

電話 059-382-0268

Fax 059-382-7851

<https://www.edu.city.suzuka.mie.jp/eskawano/>

めだす学校像 < 仲間とともに、愛と絆を育む学校 >

かわっこ



令和8年7月9日発行 No.4〈河曲小HP〉

たいいくかんしゅうへんちゅうしゃじょうこうじ かんりょう 体育館周辺駐車場工事が完了しました

なが ぶん たいいくかんしゅうへんちゅうしゃじょうこうじ かんりょう あたら けいろ うんよう
長らくご不便をおかけしていた体育館周辺駐車場工事が完了し、新しい経路での運用がスタートしました。こどもたちのあんぜんだいいち い か てん きょうりよく ねが
安全第一のため、以下の点にご協力をお願いいたします。

き だ ばしほうめん つうがくろ か 木田橋方面からの通学路が変わります

たいしやう ち く じどう ち く べつじどうかい しどう おこな あたら つうがくろ あんぜん とうこう
対象地区の児童には地区別児童会で指導を行いました。新しい通学路で安全に登校できる
よう、ちいき みまも ねが
地域での見守りをお願いします。

くるま そうげい じゃりちゅうしゃじょう お車での送迎は「砂利駐車場」へ

じどう とうげこうじかんたい しんちゅうしゃじょうしゅうへん つうがくろ たいへんきけん とうげこうじ そうげい さい
児童の登下校時間帯は、新駐車場周辺が通学路となり大変危険です。登下校時の送迎の際は、
しんちゅうしゃじょう はい かなら じゃりちゅうしゃじょう りよう
新駐車場には入らず、必ず「砂利駐車場」をご利用ください。

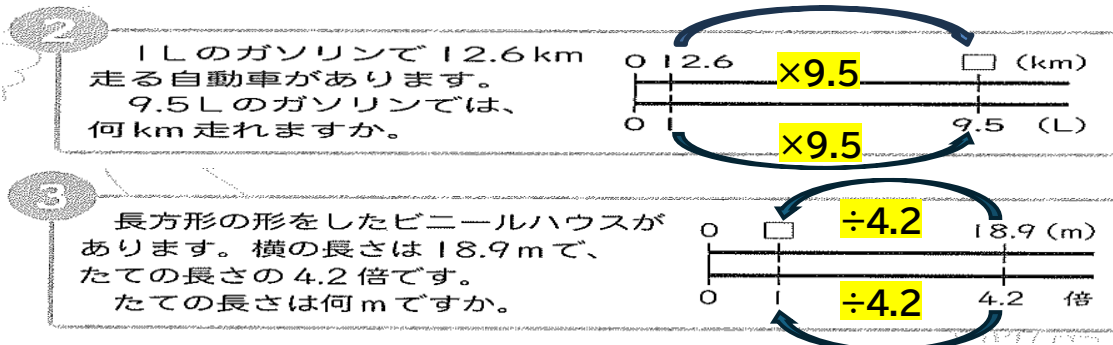
もんびまえ あんぜんかくほ げんざい がっこう こうだじちかい けいさつしや おうだんほどう せっち しんせい ようぼうちゅう
門扉前の安全確保のため、現在、学校と河田自治会で警察署へ横断歩道の設置を申請(要望中)
しやうさい がっこう しんけいろす とう かくにん
しています。詳細なルートは、学校ウェブページの「新経路図」等をご確認ください。



ねんせい しょうすう じょうじょ ざん ざん まちが 5年生「小数の乗除(かけ算・わり算)」は、なぜ間違えるの？

ねんせい じゅぎやう ようす み まわ ひっさん さい
5年生の授業の様子を見て回っていると、 $3.9 \div 5.2$ を筆算にする際、 $3.9 \overline{) 5.2}$ としてしま
う子が何人かいました。わり算の式を筆算の記号(厂)に書き換えるとき、順番が逆になる
ため混乱してしまいます。最初にある 3.9 が、「わられる数」で主役です。主役なので「お家
(厂)の中」に入れて守ってあげる、とイメージして、後から来る 5.2 は外側と覚えるといい
でしょう。「中(3.9) わる外(5.2)」という順に口に出しながら数字を書き込んでいくとより
おぼ 覚えられると思います。

つぎ しょうすう ざん ざん がくしゅうご けいさん かんが ばんしやうもんだい
次は小数のかけ算・わり算を学習後に「どんな計算になるか」考える文章問題です。ここ
でポイントになるのが線分図の見方です。線分図を描くときは、常に「1にあたる大きさは何か？」
いしき せんぶんず みかた せんぶんず か つね おお なに
を意識させます。線分図は、上に「実際の数量(m、kg、円など)」、下に「割合・倍(1、〇倍
など)」を揃えて書くのが一般的です。



下の線（基準）は、必ず「1」と「〇倍（小数の数）」を書き、上の線（数量）は、1に対応する「1あたりの数」と、「求める数」を書きます。

小数で混乱したら、整数の簡単な問題に置き替えてみるのも効果的です。「もしこれが2倍や3倍だったらどうする？」と問いかけます。②の問題の場合、「1Lで12.6 km走る自動車は9.5Lでは何km走るかな？」だから、「もし2Lなら、式はどうなる？」→「 12.6×2 だよ!」、 「じゃあ、数が9.5L kmに変わっても、式の形は同じだから 12.6×9.5 になるね」のような感じです。

矢印を使って「式の向き」を視覚化するのも効果的です。線分図に「1から〇倍へ」の矢印を描き加えることで、かけ算かわり算かが分かるようになります。

かけ算になる場合、下の線で、「1」から「〇倍（小数）」に向かって→を描く。（1を〇倍する＝かけ算）上の線も同じ向きに→を描き、「1あたりの数×〇倍＝求める数」となります。

わり算になる場合は、下の線で、「〇倍（小数）」から「1」に向かって戻る←を描き、（1の大きさを知りたい＝わり算）上の線も同じ向きに←を描き、「〇倍の数量÷〇倍＝1あたりの数」となります。

お子さんが、式に迷ったら、計算させる前に次の2つの質問だけを投げかけてみてください。

- ① 「1になっているのは、どの数字（単位）かな？」（例：1m、1dL、1個 など）
- ② 「今から求めるのは、1よりも『進む』の？ それとも『1のとき（戻る）』を求めるの？」

1から進む（〇倍を求める⇒かけ算で、1に戻る（1あたりを求める⇒わり算）

この「進むならかけ算、戻るならわり算」というイメージが線分図と結びつくと、数字が小数になっても迷わなくなります。

こどもの金銭や物の管理について

小学生は、まだ、金銭感覚が未熟です。お小遣いを渡す際は「保護者が一生懸命働いて得た、大切なものである」ことを伝えてください。お金の使い方について学校では以下のように指導しています。家庭でも約束を確認してください。また、物についても金銭と同じように扱うよう確認をお願いします。

❖お金の貸し借りをしない。

❖おごらない。「おごってあげるよ。」と言われた場合も断るようになる。

❖ゲームやカード、文房具など、こども同士で持ち物の交換をしない。

❖大金を持ち歩かない。まとまったお金は保護者に管理してもらう。

時にお金や物が原因で、大きなトラブルとなったり、悲しい思いをしたりすることがあります。お子様のお金や持ち物について、こまめに確認していただくようお願いします。